

令和元年度学校評価 「学校関係者評価票」

学校名 北海道伊達緑丘高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、学習習慣の確立を通して確かな学力の育成に努める。
- (2) 基本的な倫理観や規範意識を身に付けさせるとともに、豊かな心や創造性の涵養に努める。
- (3) 心身の調和的な発達を図るとともに、困難に立ち向かう自信と勇気のある態度の育成に努める。
- (4) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、自ら進んで課題を解決しようとする態度の育成に努める。

2 学校関係者評価

「A=十分である」、「B=概ね十分である」、「C=不十分である」、「D=改善を要する」

| 分野・領域 | 評価項目 | 自己評価の適切さ | 改善に向けた取組の適切さ | 学校関係者の意見等 |
|----------------|--|----------|--------------|--|
| 学校経営 教育目標 | 今年度の学校経営方針・シラバスに則って教育を展開していますか。 | B | B | 職員間だけでなく、地域とのコミュニケーションも大切にしてほしい。 |
| | 分掌や学年各種委員会等が組織的・有効的に機能していますか。 | B | B | |
| 資質向上 服務規律 | 効果的な研修計画を立案し、研修の成果の共有・実践ができていますか。 | B | B | 教育制度や高大接続などもあり、職員の研修活動の充実は、一層進めてほしい。 |
| | 法令遵守・服務規律の保持に係り、適正な勤務管理に努めていますか。 | A | A | |
| 教育課程 学習指導 | 3コース制の教育課程は生徒の個性身長や進路実現に機能していますか。 | B | B | 伊達高との再編・統合という変化もあるが、最後まで生徒の進路実現に向けて努力し続けてほしい。 |
| | 授業改善を進め、生徒の学習意欲の向上立を図っていますか。 | B | B | |
| 特別活動 | 学校行事やHR活動・部活動等の充実に向けた指導が十分ですか。 | B | A | 生徒の意向に留意しながら進める必要がある。 |
| 生徒指導 いじめ | その場に応じた適切な生徒対応・生徒指導に努めていますか。 | B | B | 不登校の状況など外部からは見えづらいことも多い、細心の注意を払って指導を進める必要性を感じる。 |
| | いじめの根絶に向けて、厳しくも温かい指導を図っていますか。 | B | B | |
| 教育相談 保健安全 | カウンセリングや教育相談体制を整備し、生徒の状況把握に努めていますか。 | A | A | 今後も生徒に寄り添った指導を継続してほしい。 |
| | 生徒の健康管理に関わる取組は適切に実施されていますか。 | A | A | |
| キャリア教育 進路指導 | キャリア教育は3年間を見通し計画的・組織的に行われていますか。 | A | A | これまでの実績を踏まえて、生徒の希望を叶える指導を今後とも進めていただきたい。 |
| | 進路実現に向けて、生徒・保護者に対する適切な助言や具体的な指導を行っていますか。 | B | B | |
| 特別支援教育 | 特別支援を必要とする生徒への指導体制が適切に整備されていますか。 | B | B | 外部に発信しづらいことではあるが、ニーズに応じた教育を進めてほしい。 |
| 施設設備 | 校舎内外の環境整備に努め、施設設備の安全・安心の確保を図っていますか。 | B | B | 臨機応変に必要な整備を進めてほしい。 |
| 連携 情報発信 | 保護者や地域住民との積極的な連携・交流に努めていますか。 | A | A | 職員・保護者からも評価が高いことは良いことである。地域の学校理解を深めるためにも更なる充実を望んでいる。 |
| | 日ごろの教育実践を保護者や地域住民にわかりやすく伝えていきますか。 | A | A | |
| 働き方改革 | 勤務時間の縮減や効率化など職員の働き方改革を適切に行っていますか。 | B | B | 生徒の不利益にならないよう、仕事と部活動との両立が必要と感じる。 |

4 該当するものに○をつけてください。

PTA ・ 同窓会役員 ・ 学校評議員